

= 受賞 =

電気電子工学科、田村淳二教授が澁澤賞を受賞

(電気電子工学科)

このたび、電気電子工学科田村淳二教授が、社団法人日本電気協会から「第 56 回澁澤賞」を贈呈されました。

澁澤賞は、故澁澤元治博士が昭和 30 年に文化功労者として表彰を受けられた栄誉を記念するため、昭和 31 年に設けられたものです。電気試験所、東京帝国大学教授・工学部長、名古屋帝国大学初代総長を務められ、電気工学の教育に半生を捧げられるとともにわが国の電気保安行政の礎を築いた澁澤博士の崇高な志を受け継ぎ、広く電気保安に優れた業績を上げた方々に毎年贈られており、民間で唯一の電気保安関係表彰として各界より認められている権威ある賞です。

毎年 11 月 3 日の文化の日に受賞者の発表が行われ、この度 11 月 25 日に東京會館において贈呈式・祝賀会が開催されました。今年度は 5 つの部門で 26 組 50 名の個人・団体が受賞し、その内の学術研究部門では田村教授がただ一人の受賞者となりました。

田村教授は本学において 30 年近くに亘り電気機械工学・電力工学分野の教育・研究に従事され、研究面では回転機技術を中心として、可変速同期発電機の解析モデルの研究、事業用同期発電機の解析、電力系統

の安定度問題並びに過渡現象解析、更に最近では風力発電システムの設計・解析・安定度等の研究を推進されてきました。これらの成果は、電気学会、米国電気電子学会(IEEE)等を初めとする学会論文誌や国際ジャーナル誌に 110 編を超える学術論文として発表され、合わせて 130 編に及ぶ国際会議論文、400 編を超える国内学会等での口頭発表論文としても発表され、国内外から高く評価されると同時に電気機械工学・電力工学の分野の進展に大きく寄与されました。また、これらの教育並びに研究活動をとおして多くの学生を指導し、電気機器製造業、電力会社、電気設備・電気工事業等の分野へ多くの技術者あるいは研究者として送り出されてきました。

一方、学会活動においても、電気学会同期機に関する調査専門委員会委員、電気学会論文委員会主査、電気学会回転機技術委員会委員長、電気学会理事・北海道支部長、電気設備学会北海道支部理事などを歴任され、加えて多くの国際会議における実行委員なども歴任され、電気系諸学会の運営にも大きく貢献されております。

この度、このような長年に亘る功績が評価され、澁澤賞の受賞となりました。

